

えこ〜つうしん

平成21年(2009)2月12日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)

環境新聞「えこ〜つうしん 第11号」です。市では、今年1月に、「出雲市環境レポート2008」を発行しました。

これは、平成18年度末に策定した「出雲市環境基本計画」について、昨年度1年間の進捗状況を点検、評価したもので、今後の取り組みなどを見直すとともに、市で実施している環境に関する取り組みをお知らせするために年1回発行しています。

各コミュニティセンターなど市の関係施設に置いてありますのでご覧ください。また、市のホームページでもご覧いただけます。(http://www.city.izumo-shimane.jp/) 皆さんの家庭でも身近なところからエコにつながる取り組みをはじめませんか。



ポイ捨てや不法投棄は絶対にやめましょう

環境特派員レポート

不法投棄パトロール

出雲地域ポイ捨て禁止推進協議会(ポイ禁協)大社支部では、不法投棄の実態把握と撲滅を目指し、毎年恒例となっている「大社地域一斉不法投棄パトロール」を行いました。当日は、大社地区の美化推進員、ポイ禁委員長、広域交番、出雲市などから約20人が、神戸川の河口、桃山トンネル付近や鷲峠付近など12か所のパトロールを行い、2時間かけて生活ごみや不燃ごみの回収作業を行いました。



不燃物だけでなく生活ごみも多い不法投棄物

参加者は「以前と比べると不法投棄は少なくなってきた。しかし、神戸川の河口、桃山トンネル付近や鷲峠付近などの不法投棄常習地帯では依然として多い。誰かが不法投棄を行うと、その後次々と別の人が連鎖的に不法投棄するようである。パトロールの回数を多くして常にきれいにしておくことが大切。また、もっと多くの人にパトロールや回収作業に参加してもらおうなど、環境美化の啓発活動を行うことが必要」などと話していました。 今後も、パトロールと啓発活動を通して、不法投棄撲滅を目指していきます。(取材/村上特派員)

心と街を美しく



美化推進員 吉川昭平さん(湖陵町)

「ゴミをポイ捨てる人は心を病んでいる」と訴える美化推進員の吉川昭平さん。約6年前、安来市の会社を退職後、今の団地に越して来られました。

当時はまだ新しい団地で、辺りは草だらけ。その現状にじつとしていたことが、農業大学で講習を受け、たった一人で伸び放題だった団地の草を刈り始めました。

その地道な活動から「美化推進員」を任されるようになります。今年で5年目になります。今でも県道湖陵掛合線沿いなどで月3回程度活動され、1時間も歩けば家庭用の小さなゴミ袋がいっぱいになるくらいのことです。その中で最も多いのがタバコの吸い殻です。ときには、中身の残ったままのお弁当などが捨てら

美化推進員とは・・・

出雲市飲料容器及び吸殻等の散乱の防止に関する条例(ポイ捨て禁止条例)に基づき市長が任命した方のことで、同条例に基づくパトロールや環境美化の推進などの活動を行っています。現在162人の方を任命しています。

寒さに負けず

町をピカピカに

湖陵幼稚園クリーン作戦

11月に行われたボランティアアウイークの期間中に、市立湖陵幼稚園(園児数57人)では、地域への奉仕として清掃活動を実施しました。

冷たい北風が吹く中、年少組は園周辺を、年中・年長組は約1キロ離れた湖陵コミュニティセンターまで歩きながら紙くずや空きカン・空きビンなどを拾い、その後、コミュニティセンター敷地内の草抜きを行いました。

はじめは、「寒い、寒い」と震えていた園児たちも、作業が始まると地面に手をついて大人の手では取りにくい小さな草を抜いては、笑顔を見せていました。

園児たちの「大変だった」「こんな大きなビンが落ちていたよ」など無邪気な感想を



正懸命草抜きをする湖陵幼稚園の園児たち

聞いているうちに、捨てる側のマナーの悪さに大人として恥ずかしい思いでいっぱいになりました。(取材/山崎特派員)

「今は未来のために」



講演会の様子

12月に佐田町で北海道の旭山動物園坂東元副園長の講演会が行われました。その中で坂東

さんは、「最近、環境に優しいとして食品や洗剤などあらゆるものに利用されているパーム油について、原料のアブラヤシの生産地では、ジャングルを切り開きアブラヤシ畑を作るために、そこに生息するオランウータンやボルネオ象など、動物の生活の場所を奪い、絶滅の危機に追い込まれている。一方で、動物たちを保護する活動も行われているが、人間と動物の生活を両立させることは難しい。温暖化防止・環境に優しくというのは、人間を含め数多くの動植物の命をつなぎ続ける未来のために必要だ。豊かさに恩返しする循環型の仕組みを考えないといけない」と話されました。

坂東さんは、小さいことでも自分に何かできないかを考え、とりあえず即席めんを食べることをやめたそうです。自分たちの便利な生活の裏側で失われる命の多さを改めて思い知らされた講演会でした。もっとも環境への思いやりを考えて生活していきたいと思えます。(取材/今岡特派員)

家電リサイクル商品が追加されます



現在、家電リサイクル商品として指定されているブラウン管テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫、エアコンに、平成21年4月1日から液晶式およびプラズマ式テレビと衣類乾燥機が追加されます。

これにより、出雲市のごみ収集および処分場では、取り扱いができなくなります。家電販売店などへ廃棄の依頼をしていただくこととなりますが、その際には家電リサイクル料が必要となります。

えこ〜な本の紹介

「はなかつぱとグチャットン」

あきやま ただし / 作・絵
メディアファクトリー / 出版

主人公の「はなかつぱ」が住む自然豊かな山の向こうは近代都市。ある日、街外れにあるゴミの山から怪獣が生まれ暴れた。



環境破壊の恐ろしさをユーモアたっぷりに訴えた一冊です。